

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	北里大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キタサトダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	北海道・東北地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	獣医学部生物環境科学科
	担当教職員名・役職	眞家 永光・講師
受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	28	
受入企業等数	31	
受入企業等名	埼玉県、県土整備局、独立行政法人水資源機構、古河市役所、北奥羽土地改良調査管理事務所 など	
インターンシップの分類	9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	測量やCAD等を用いた設計、生物調査(環境調査)、土木工事、緑地・公園・オフィスビルなどの造園管理など
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップは、①講義や実習で習得した知識や技能を実際の現場で高める、②常に目的意識をもって技術内容を理解する、③就業体験を通して職業意識の向上を図る、④実習を通して自己啓発を図ることを目的とすることをインターンシップマニュアルやシラバス等に明示し、実働10日以上、1単位で実施している。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	学生にはインターンシップ実施にあたって、受入先の特徴を事前調査し、実施の目的を明確にさせている。また、大学での学びと経験を再認識させ、それをインターンシップにどう生かすのか、インターンシップに期待することを自己紹介書という形で作成し、インターンシップ先に伝えている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	学生によるインターンシップ報告会を開催。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい	

要素④	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	報告書をまとめインターンシップ報告会にてインターンシップ内容や反省点、今後の展望等を報告させている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実働10日以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実働5日以上を2ヶ所実施
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実働10日以上としている。(無理な場合は実働5日以上を2カ所で1単位としている。)
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ後、受入企業担当者により評価表作成。実習中の態度や内容の理解度を4段階で評価し、最後に総合的所見としてコメントをいただいている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://kitasato-vm.e-campus.gr.jp/public/syllabus/2018/show/2251
問い合わせ先	大学等名	北里大学
	担当部署名	就職センター
	担当者役職名	
	担当者氏名	森山 由美子
	電話番号	042-778-9745
	メールアドレス	syusyoku@kitasato-u.ac.jp